

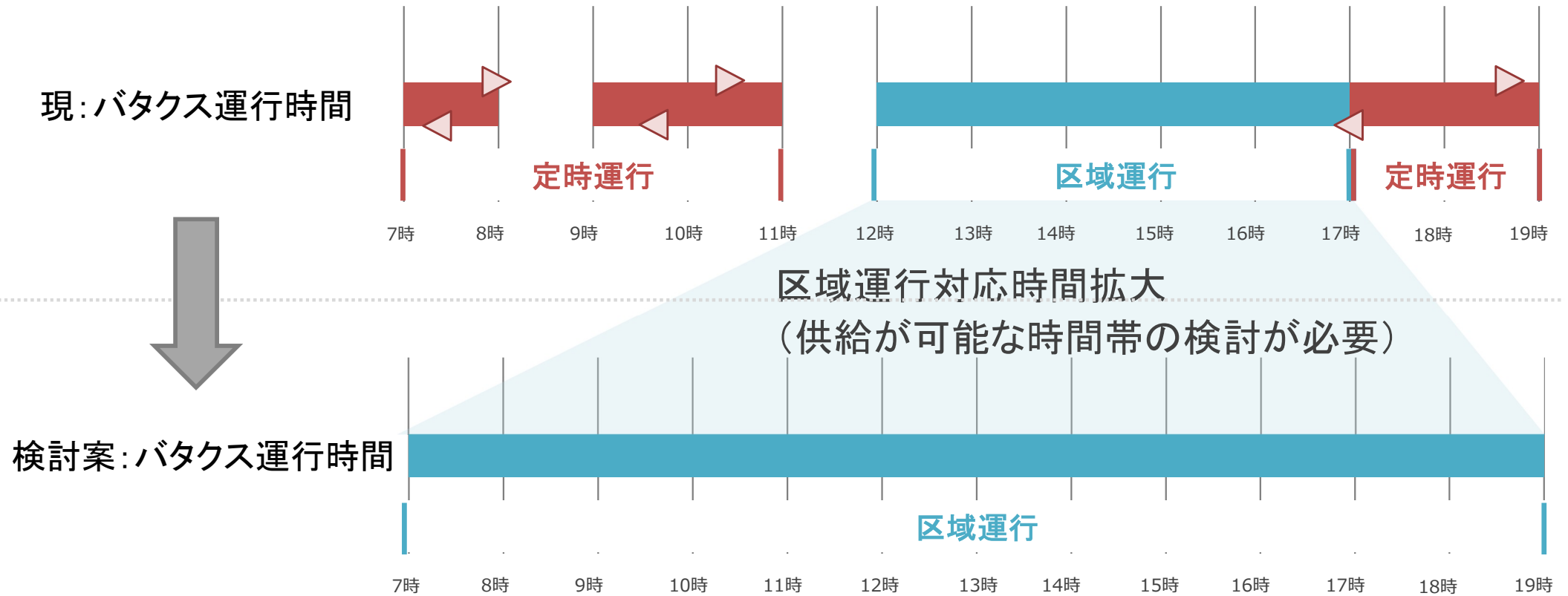
令和7年度 第2回 高松市総合都市交通計画推進協議会

バタクス定時運行の実証事業終了に伴う対応（案）について

令和7年10月24日（金）

令和7年度第1回高松市総合都市交通計画推進協議会資料【再掲】

定時運行の実証事業は終了し、パターン②の実現可能性について検討を進める



○ 予算を伴わない検討・調整事項

- ・ アンケート調査による利用者の需要確認
- ・ 供給可能なタクシー台数の確認

○ 予算を伴う検討・調整事項

- ・ 事業者負担の在り方



アンケート調査による利用者の需要確認

アンケート調査の概要

アンケート内容

目的：定時運行終了の周知に併せ、
定時運行終了後に、パターン②となった場合の需要確認

期間：令和7年6月中旬～同年8月31日

回答方法：LoGoフォーム

設問事項：

Q. バタクス定時運行の利用有無

利用した事がある⇒頻度を確認

利用した事がない⇒理由を確認

Q. 区域運行の運用となった場合の利用意思

利用したい⇒時間帯・目的を確認

利用しない⇒理由を確認

利用されない理由を整理

需要

アンケート対象

○利用者向け（6月中旬～7月11日までの利用者対象）

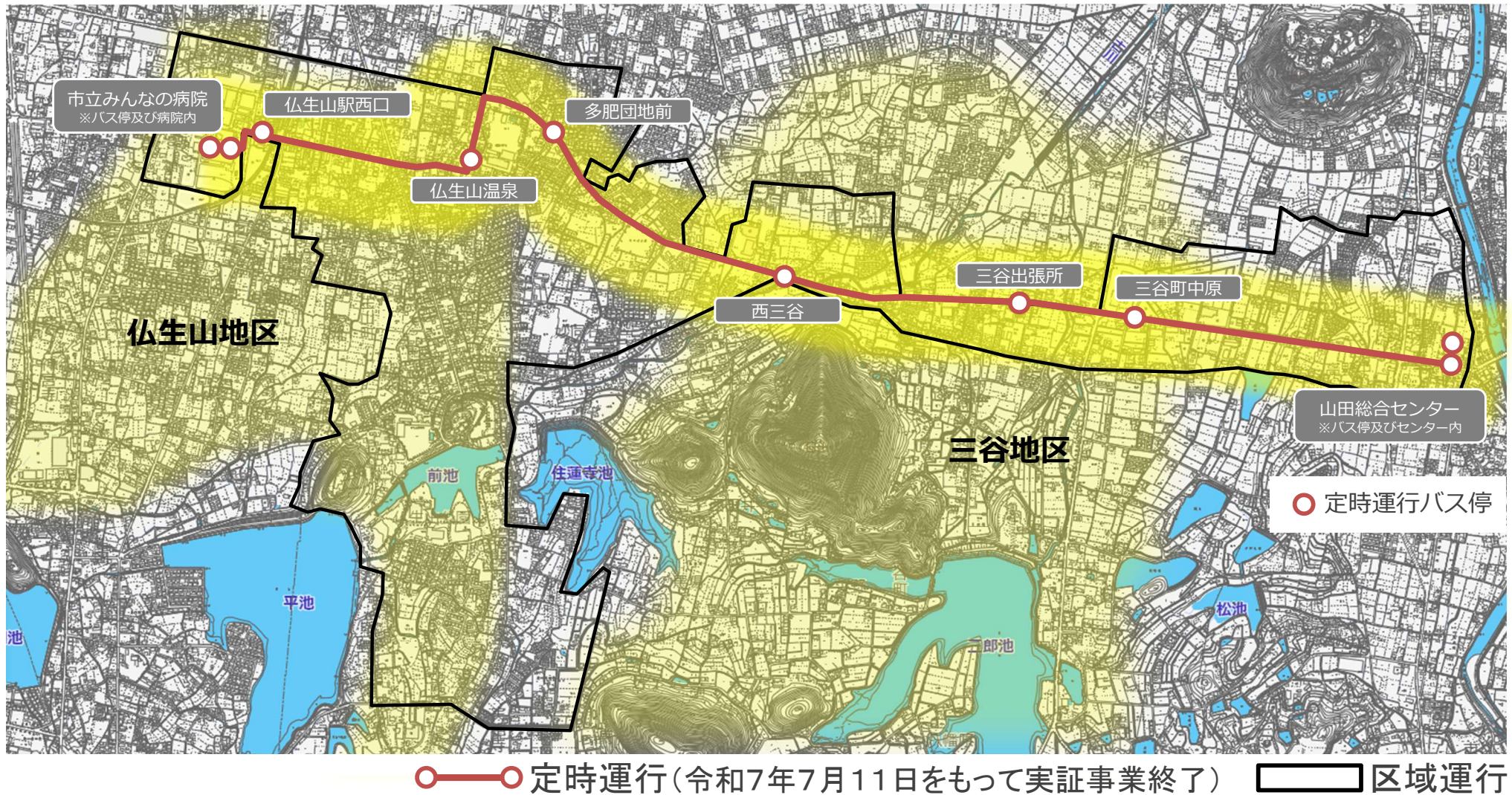
- ・定時運行の利用者にアンケートチラシを運転手から手渡し

○地域住民向け

- ・定時運行の各バス停や総合センター等にアンケートチラシを設置
 - ・定時運行路線の沿線住民へ地域の広報誌やアンケートチラシの配布により協力依頼
(約3,850世帯)
- ※対象エリアは次ページのとおり

アンケート調査による利用者の需要確認

アンケート配布対象エリア



- 〇定時運行沿線自治会を中心に地元コミュニティ協議会を通じてアンケートチラシ配布
(仏生山地区は地域広報誌に掲載し全世帯配布(自治会加入者)、三谷地区は全世帯配布(自治会加入者))
- 〇定時運行の各バス停や総合センター等にアンケートチラシ設置 3,850世帯

アンケート調査による利用者の需要確認

アンケート結果

回答数

○利用者向け（6月中旬～7月11日までの利用者対象）

回答数：0件（参考：6月2日～7月11日までの利用者数：57人）

○地域住民向け

回答数：12件（参考：配布世帯約3,850世帯）

回答結果

Q. バタクス定時運行の利用有無

・利用した事がある：…4件【**需要の可能性有**】
※利用頻度は全て月に1回未満

・利用した事がない：8件
利用する必要がなかった…6件【**需要なし**】

利用したかったが出来なかった…2件【**需要の可能性有**】

Q. 区域運行の運用となった場合の利用意思

・利用する：2件【**需要**】

利用したい時間帯

- ・7時台～9時台
- ・17時台

利用目的

- ・通勤・通学
- ・病院
- ・買い物

・利用しない：4件【**需要なし**】

利用しない理由

- ・前日までの事前予約が必要
- ・利用区域が限られる
- ・土日の運行が無い

アンケート調査結果から、バタクスの区域運行拡大を求める声は少ない状況

供給可能なタクシー台数の確認

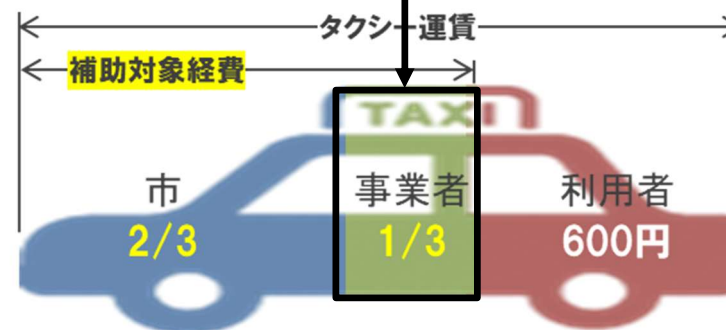
高松タクシー協会及び事業者への聞き取り

バタクス区域運行の対応時間拡大に対する意見（事業者）

- 朝夕の時間帯については、繁忙時間であり、その時間帯に台数を確保することが難しい

その他の意見（高松タクシー協会）

- 制度導入時（新型コロナウイルス感染症流行時）においては、昼間の稼働は少なかったが、現時点においては、昼間の需要も回復傾向にある。
- 今後、バタクスの水平展開を行う際には、事業者負担（1 / 3）の在り方を含め、持続可能な交通モードとなるよう、制度内容の再検討をお願いしたい。



バタクスの区域運行拡大には、タクシー台数の確保が難しい状況

バタクス定時運行の実証事業終了に伴う対応

アンケート調査による利用者の需要確認

バタクスの区域運行拡大を求める声は少ない状況

供給可能なタクシー台数の確認

タクシー台数の確保が難しい状況

本地区において、**区域運行対応時間の拡大（パターン②）は行わない。**

また、今後、**バタクスの水平展開に向け、**
事業者負担の在り方を含め、持続可能な交通モードとなるよう、
制度内容の見直しを進める。